

海外安全対策情報（2015年7月～9月）

1 社会・治安情勢

2014年犯罪統計が発表されました。治安当局によると、刑事事件として扱われた犯罪認知件数は過去5年で最も多く、また銃器を使った殺人事件が前年と比べ20.6%増加したことを発表しました。特に、ムバララ県(Mbarara)とカセセ(Kasese)県(共に西部)において犯罪件数が増加傾向にあることも合わせて言及しています。他方、2015年上期の統計(未発表)では犯罪件数は減少傾向にあるとして、治安が悪化しているとの見方については否定しました。

	犯罪認知件数	強盗	殺人	強姦
2012年認知件数	100,465件	32,183件	1,910件	9,009件
首都カンパラ認知件数	19,228件	7,853件	243件	729件
発生割合	19.1%	24.4%	12.7%	8.1%
2013年認知件数	99,959件	28,861件	2,326件	10,974件
前年比	99.5%	89.7%	121.8%	121.8%
首都カンパラ認知件数	13,279件	4,624件	217件	635件
発生割合	13.3%	16.0%	9.3%	5.8%
2014年認知件数	103,720件	27,351件	2,421件	7,347件
前年比	103.8%	94.8%	104.1%	66.9%
首都カンパラ認知件数	14,562件	4,298件	255件	1,101件
発生割合	14.0%	15.7%	10.5%	15.0%

2 一般犯罪・凶悪犯罪

(1) 盗難・強盗事件

○キャンクワンジィ県(Kyankwanzi)：中部

7月9日午前2時頃、家族5人が住んでいた住居に武装強盗が押し入り、家族を負傷させ金品を奪うとともに住居に火を放ち逃走しました。

○グル県(Gulu)：北部

ア 8月13日午前6時頃、35歳女性が出勤中に鉄パイプを所持した強盗に襲われ、鞆と携帯電話を奪われました。

イ 8月27日午前6時頃、23歳女性が出勤中に襲われ負傷しました。犯行現場の近くからハンマーとナイフが発見され警察が回収しました。

(2) 殺人事件

○グル県(Gulu)：北部

7月8日、25歳男性の死体が発見されました。その後の捜査によると、男性は午前2時頃帰宅途中に鉄パイプで撲殺されたと見られ、現金およびデジタルカメラが奪われていたことも判明しました。

○ルウェロ県(Luweero)：中部

7月14日夜、キリマンツンゴ村(Kirimantungo)にあるバーに武装強盗が押し入り、3人を殺害し80万ウガンダシリング(約3万円)を奪い逃走しました。

○ムバレ県(Mbale)：東部

8月22日午後9時頃、75歳男性が飲酒後に帰宅していたところ、何者かに襲われ殺害されました。

○カンパラ市(Kampala)：中央

9月4日午後11時頃、ムサンビア(Nsambya)において帰宅途中の男性が武装強盗に襲われました。犯人は男性を射殺し、所持していた鞆を奪いバイクで逃走しました。鞆には1,500万ウガンダシリング(約50万円)が入っていたとのこと。

○ムピギ県(Mpigi)：中央

9月20日午前3時頃、19歳女性と母親が帰宅途中に暴漢に襲われました。女性は複数の男性から強姦された後に刺殺され、母親は意識が無くなるまで暴行を加えられました。

(3) 強姦事件

邦人が被害に遭ったとの情報には接していませんが、ウガンダにおいて強姦事件は深刻な問題となっています。また、被害者となる女性の大半が未成年者であり、近親相姦も頻繁に発生しています。

○グル県(Gulu)：北部

7月27日夜、帰宅途中の30歳女性が強姦に遭いました。被害後、女性は頭部をハンマーで殴打され重傷を負い、グル病院へ搬送されました。

○クミ県(Kumi)：東部

8月27日報道によると、57歳男性が16歳になる娘を強姦したことで逮捕されました。クミ県警察司令官は、同県で発生している強姦事件の半数は近親相姦だと言及しました。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は発生していません。しかし、ウガンダ政府は近隣国ソマリアの治安向上を目的にアフリカ連合ソマリアミッション(AMISOM)に自国軍を派

遣し、ソマリア武装テロ組織「アル・シャバーブ」に対する掃討作戦に参加しています。このため、同組織はウガンダへの反発を強めており、しばしば当国を名指しで報復する旨発言していることから、引き続き注意する必要があります。

また、シリアやチュニジアにおいて日本人が殺害されるテロ事件をはじめ、ISIL（イラク・レバントのイスラム国）等のイスラム過激派組織又はこれらの主張に影響を受けている者によるとみられるテロが世界各地で発生していることを踏まえれば、日本人・日本権益がテロを含む様々な事件に巻き込まれる危険があります。このような情勢を十分に認識して、誘拐・脅迫・テロ等の不測の事態に巻き込まれることがないように、渡航情報及び報道等により最新の治安・テロ情報等の関連情報の入手に努め、日頃から危機管理意識を持つとともに状況に応じて適切で十分な安全対策を講じるよう心がけてください。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が誘拐・脅迫される事件は発生していません。しかし、近年ウガンダにおいて身代金を目的とした誘拐事件が発生しており、邦人が巻き込まれる可能性も否定できないため、滞在中は警戒を怠ることのないよう十分注意してください。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

対日感情が良好なこともあり、日本企業であることを理由に標的とされる可能性は低いですが、上記「テロ・爆弾事件発生状況」のとおり、テロが世界各地で発生していることを踏まえれば、日本人・日本権益がテロを含む様々な事件に巻き込まれる危険も排除できませんので、十分注意のうえ安全対策を怠らないよう努めてください。

以上